

恵の聖母の家 園内報

# ルルドの丘

2015  
12月  
No.33



社会福祉法人 聖母の騎士会

恵の聖母の家

児童発達支援センターめぐみ

相談支援事業所こころ

# みことば

私は心からクリスマスを祝います。

そして、一年中その気持ちを失わぬようにいたします。

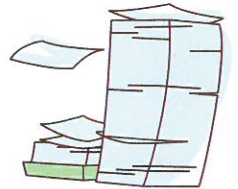
私は過去、現在、未来、聖霊とともに生きるつもりです。

チャールズ・ディケンズ

クリスマス・キャロルより

## きらりん★

### 個別支援計画による「利用者さん本位のサービス提供」をめざして



2009年度から導入した個別支援計画書も今年で6年目になります。措置から契約になり、成年後見人および保護者の皆様から直接ご意見をお聞きしたいと始めた面談も、皆様方のご協力により、毎年継続して実施できております。ありがとうございます。

初年度から、計画書については、利用者さんに実際に提供される支援内容がどのようなものでどのように行われているのか、どのようなことができるようになってきているのか、どのようなことが難しくなっているのかなど、限られた紙面の中でできるだけわかりやすい表現で記述するようにしています。専門用語を少なくするなどの工夫も必須です。また基本的にはネガティブな視点（できないことが多い）ではなく、ご本人の「できること」に着目した計画書を作成するように心がけています。さらに2014年度からは、計画書を作成する中で、根幹となる「ご本人のご希望」・「長期目標」・「短期目標」などは担当者会議を開き、担当者間（サービス管理責任者・看護師・保育士または介護福祉士・訓練士・臨床心理士）で検討後、ケース・カンファレンスで決めていきます。担当者会議では、計画書に添って、一年間の様子を報告し、今抱えている支援課題について話し合ったり、次のステップに向かう話をしたりしています。専門職が集まって意見交換をすることで情報を共有し支援することが利用者さんにとってのメリットだと考えています。

2015年度7月からは主治医に相談の上、各棟1名ずつの利用者さんに、ご自分の面談に出席していただいています。本来、面談には利用者さん個人に出席してもらい、説明後し同意をもらうことが望ましいとなっています。現在、計画書の内容の説明によっては難しい言葉もありますが、短期目標ができていてほめられていると感じて笑顔が浮かべたり、返事をする利用者さんや、声は出せないものの、じっと聞いている利用者さんなど、様々な姿が見られ、和やかな雰囲気で行なわれています。

今後も、個別支援計画書を通して、一人の利用者さんに関わる様々な専門職が連携し、よりよい利用者さん本位のサービスが提供できるように努めてまいりたいと思います。

保育士 倉本 恵子

## 巻頭言

## 施設長 佐藤 圭右

社会福祉法人の「内部留保」…という記事をときどき見かけます。それは、どういうことでしょうか？

ひと昔前のことですが、社会福祉法人、高齢者福祉や障がい者福祉に携わる法人には今以上に税金が注ぎ込まれていて、たくさん「内部留保」すなわち貯金があり、使われないままになっている、ということのようです。現在は以前のように経済的に余裕があるわけはありませんが、それでも以前の「内部留保」がある程度残っています。その状況ですが、恵の聖母の家の経営状況は、社会福祉法人聖母の騎士会に含まれて公開されることになっているので、ホームページなどでそれを見ることが出来ます。

ところが、この貯まっているお金には少し訳があります。

社会福祉法人の施設を建てる時、以前は税金が使われていました。これが一般企業では建物を内部留保と借入金で建てなければなりません。ただし、建物や設備等については毎年劣化していくことから、減価償却をすることが義務付けられています。その分を毎年減価償却費として積み立て、次の建物の建築資金に充てられることになります。ところが、社会福祉法人では、税金で施設が建てられた時代は建物に対する減価償却という制度がありませんでした。そのため内部留保を持つ必要がなく、措置費等のお金は全額利用者の為に使用するこ

となっていました。最近では税金で施設を建てることが出来なくなり、また社会福祉法人会計の変更により社会福祉法人も減価償却の制度が取り入れられました。

そのため、次に改築するための資金を残さなければならなくなりました。そこで内部留保という形でお金が残されることになったのですが、そのお金が目的のある積立金に振り替えられていない法人があり、それが誤解を生んでいるようです。

現在、社会福祉法人の改革が法律として審議されようとしています。その中で、この内部留保の問題も取りざたされています。私たちの施設も少なからず内部留保は持っていますが、その使途について、明らかにするように求められています。

☆

恵の聖母の家は昭和五八年に設立され、今では三〇年を過ぎました。そろそろ建物も古くなっていきます。壁紙が剥がれかけたり、雨漏りなど目につく範囲だけでなく、目に見えない上下水道の配管、空調設備、壁の中の配線など見直さなければならぬ時期にきています。過日、専門の業者に修繕計画の策定を依頼したところ、気になるところをすべて改修した場合、数億円かかるとの見積もりをいただきました。

このようにして修繕すれば、また数十年、この施設を快適に使うことは出来ます。しかし、開設当初はどうしても入所利用者を中心に考えられた施設です。しかも

多くの利用者が小児で、個室はなく、まして外来利用者の利便が考えられた構造にはなっていませんでした。現在、ショートステイは、運用上大部屋のほうがいい方もいらつしやいますが、一応、専用の部屋があります。外来棟は今年改修・増築され、幾分は利用者さんにとって心地よい場所にできたかもしれません。ただ、建物の構造上、職員の動線などは配慮されておりません。それをあと数十年続けるのはどうでしょうか。

しかし、建て替えを考慮した場合、その施設をまた数十年使うことになります。その設計に際しては、現状を満足させるだけでなく、今後の需要なども予測して建物を考えておくことも必要になると思われれます。例えば、現在は療育、療育、と頑張っていますが、高齢入所者が増えれば、安静にでき、静かな環境が好まれるかもしれません。さらに、将来の施設入所者が増えていくのか、減るのか、ショートステイはどうか、医療的な重症度にどこまで対応できるようにするのか、など、さまざま問題が挙げられます。

現在、大分大学医学部小児科学講座井原主任教授や独立行政法人国立病院機構西別府病院後藤院長により、大分県下の在宅の重症児者の実態調査が進められています。この調査をもとに、恵の聖母の家もどのように舵を切り、どのような要望のもとに、今後、どのような施設を新設するまたはしない、を考えていきたいと思っています。もちろん、建て替えるとしても、あと、十年、十五年先のことだと思えます。

▼写真はステンドグラスの入った聖堂です。





薬剤課

お薬の保管方法に関して

薬剤師 佐藤 雅之



自身の職業に絡めて、今回は、薬の保管方法について、をお話しさせていただきます。

皆さんは病院で貰った薬をどのように保管していますか？食品と同じように冷蔵庫に入れておく方もいるのではないのでしょうか？必ずしも冷蔵庫に入れるのが正解とは限りません。冷たい飲み物をコップに注いだ時にコップの表面に水滴がついてしまうのと同じように、薬自体が結露してベタベタになってしまうこともあります。こういったトラブルを防ぐためにも今一度保管方法に関して見直していきましょう。

一 高温・多湿・直射日光を避ける  
薬によっては温度、湿度、光の影響により効果が弱まってしまう場合が多々あります。特別な指示がない場合は湿気を避けて、直射日光の当たらない、高温にならない場所に保管するようにしましょう。

二 「冷所保存」とあれば冷蔵庫に保管  
主に、シロップ剤や目薬、坐薬、未開封のインスリンなどがこれにあたります。

目薬はまつ毛に触れて細菌汚染される場合がありますので、増殖を抑えるためにも冷所保存が望ましいです。ものによっては成分が結晶化してしまう場合もあるため事前にご確認ください。坐薬は直腸内部の温度で溶けるように作られているため、三十度を超えると柔らかくなって使いにくくなってしまいます。ですので冷蔵庫に入れておいてください。インスリンは使い始めたら室温保存ですが未開封では冷所保存になります。成分が変性して期待した効果が得られなくなったり、針をつける部分のゴムが劣化してしまうこともあるため凍結しないように注意してください。

三 子どもの手の届かないところに保管する  
子ども、特に小さなお子さんは何でも口の中に入れてしまいます。体の小さなお子さんが大人の量の薬を飲んでしまうと大変危険ですので手の届かないところに保管してください。

四 薬単独で保管する  
殺虫剤、防虫剤などと一緒になっていると間違えて飲んでしまう恐れがあります。薬を置く場所を決めたら薬以外の物は置かないようにしましょう。また薬を飲む人が複数いる場合は個人毎でしっかりと区別し、混ぜられないようにしてください。

五 古い薬は処分する  
発熱等で受診した際の薬を、体調が良くなったからと言って飲むのを止めて取りおきしている方もいるのではないのでしょうか？基本的に医師はその時の症状に合わせて薬を処方しています。同じ

託児所

小さな畑



ような症状でも、全く違う病気が潜んでいることもあります。残った薬を自己判断で飲まないようにしましょう。処方された薬は「本人」が「期限内」に「使い切る」ことが原則となります。家族知人も分けたりしないでください。

慢性疾患の患者さんは災害等の有事に備えて数日分手持ちがあるようにしている方もいると思います。そのこと自体は大切なことだと思えますので是非

今年の五月、託児所の園庭に小さな畑ができました。きっかけは野菜嫌いの子どもに「どうすれば少しでも野菜に対して興味をもってくれるのだろうか？」と思ったこと。まだこの世に誕生し、数年しか経っていない子どもにとって食卓に並ぶ食べ物、母の作ってくれた調整済みの物。そこで託児所の園庭に、しかも子どもたちが部屋の中からでも野菜の成長を確認できる場所に「小さな畑」を作りました。

自分たちの手作りの畑。せっせと土を運び、自分たちで苗を植え、小さいジョウロに水を入れ、何度も運んで水やり。ナス、キュウリ、ミニトマト、中玉トマト、パセリ、ピーマン、ゴーヤ。雨が降る日は「わあくたくさん降りよるなあ。野菜が喜んでるなあ」と、かわいい言葉も聞かれ、グングン大きくなり、きれいなお花が咲き、そこから

とも続けていただきたいと思えますが、使用期限の事も考慮していただけたらとよりよいかと思えます。食品に賞味期限があるのと同様に、薬にも使用期限があることをお忘れなきようお願いいたします。

以上がお薬の基本的な管理の方法になります。今一度、ご自宅での管理を見直してみたいかがでしょうか？

実が育っていく姿もみられ、六月には初採り。大喜びで収穫し、おうちでナスピザ、サラダに調理してもらい、食べたようです。ゴーヤはお弁当に入れてもらい、「にがいけど、ボクが採ったけん食べれるんでー」と嬉しい言葉も聞かれました。

次はもうすぐ収穫予定のお芋です。毎年少しずつ、畑を広くしていきたいナと思っています。

保育士 葉真寺 加葉





看護課

落ちあゆ

看護師 赤峰 富貴

毎年、秋になると一時間半程かけて、家族みんなで延岡の北方町川水流（かわずる）にある「あゆやな」にでかけます。行き始めて、かれこれ十年になります。年に二回行く時もあります。

「やな」とは、竹や木で作ったすのこ状の台のこたらしく、「落ちあゆ」とは、産卵のために川を下るあゆのことを言うことで、川の一部を竹でせき止め、産卵のために川を下るあゆを生け捕ることを築漁（やなりよ）と言っています。

ところで、私は川魚料理に生臭いイメージをもっていて、最初の頃は食べることに抵抗もありました。背ごし（刺身）は未だに無理です。しかし、塩焼きを何度も口にするうちに、川魚料理の味がわかるようになったようで、今では塩焼きを絶賛するようになりました。

そうやって毎年楽しみにうかがっている北方町ですが、平成十七年頃、大型台風に襲われたことがあり、その直後に訪れた時は、河川や鉄橋の崩壊等、それまでとは全く

違う景色を目の当たりにし、自然の恐ろしさを強く感じました。

あれから十年。今では河川も整備され、災害の跡はみられません。五ヶ瀬川の水面はきれいに澄んで、そのせせらぎの音には心が癒されます。私が今住んでいるところも五ヶ瀬川と同じような自然環境の中にあります。それは何かひと味違う自然に触れられる場所だと感じています。

人が紅葉で秋を感じるように、私にとって「落ちあゆ」は、秋の気配を感じ取れる風物詩のように思っています。



営繕

知っておくと為になる  
安心カーライフ2

主任 藤本明

前回、「知っておくと為になる安心カーライフ」というテーマでタイヤについてお話させて頂きました。今回は第二弾、「これから迎える冬の準備」という事で、バッテリーについて少しお勉強してもらいます。

一台の車に必ず一個は装備されているバッテリーは、エンジンルームの隅の目立たない場所にあるため、普段はなかなか意識する事がありません。しかし、自動車教習所で教わった「運行前点検」のチェックポイントの一つでもあるだけに、誰でも重要なパーツという認識はあるでしょう。

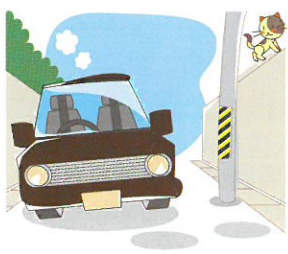
では、バッテリーの働きについて説明させて頂きます。バッテリーから電気エネルギーを取り出す事を放電といい、ヘッドライトの点灯やエンジン始動時、エアコン運転時に多く発生します。また、「バッテリー上がり」の原因として車の電気負荷の増大、エンジンルームの高温化、渋滞による交通事情の悪化等が主な原因でもあります。では、バッテリーが上がったらどうしたらいいのか。

とりあえず、ブースターケーブルを他車のバッテリーから接続してエンジンを始動させるのがベストな方

法でしょう。ただ、順番を守らないと事故を誘発する恐れがあるので注意が必要です。また充電器を使って充電する方法もありますが、急速充電は劣化やガスの発生があるので極力避けましょう。

次にバッテリーの寿命は？放電、充電を繰り返していくうちに内部の部品は劣化が進み、本来の性能が発揮できなくなります。そうすると交換になる訳ですが、最近のバッテリーは長寿命となっていて、交換時期が難しいので「使用期間」を目安に交換するのがいいと思います。短い物は一年目、長い物で六年目となっています。だいたい三年目で交換を検討するのがベストでしょう。

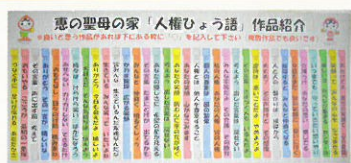
最後になりましたが、夏場に疲れたバッテリーに、これから寒い冬が追い打ちをかけてきます。冬場にトラブルがないように、今のうちに早目のチェックをされてはいかがでしょうか。





2015年8月20日(木) 差別をなくそう月間

今年は「私たちは利用者  
の思いを傾聴します」をテーマに施設内の職員を対象に全体研修を行いました。傾聴のスキルや心構えを学び、ロールプレイを行い、気付いたことを班ごとに発表し合いました。「表情の大切さ」「あいづちの効果」等、さまざまな気づきが報告され、今後に活かしていくこととしました。また、利用者、ご家族から募集した人権標語を施設内に掲示し、良い標語に丸をつけてもらい、たくさん丸がついた標語を市や県に提出しました。ご協力、ありがとうございました。



2015年9月12日(土)  
家族の日・ファミリーフェスティバル

今年は「ピエロ」神楽として「のど自慢」を行いました。「ピエロ」ではピエロが会場に質問し、会場の答えが書かれた紙を箱の中から出して皆を驚かせ、「神楽」では豊後大野市の「御獄流奥畑神楽」の皆さんが「柴引」で柴やタオルを引き合い、また、ご家族、入所者、通所利用者、職員等が出演した「のど自慢」では、歌や鐘の数で会場が多に盛り上がりしました。綿菓子やバルーンアートも随時行い、出品物の販売収益は赤い羽根共同募金へ寄附しました。病棟ホールで行った入所者やご家族、職員等による作品展示も多くの方に見ていただくことができました。なお、今回もたくさんのボランティアに手伝っていただきました。ありがとうございました。



2015年9月24日-25日 県職員体験実習

現場を知ることとして県福祉保健部の職員3名がひかりの大地とのぞみの丘、そして児童発達支援センターめぐみに分かれて実習を行いました。療育活動の参加をはじめ、食事介助、他に行事等のビデオを通して恵の聖母の家を理解していただきました。皆さん、初めての实習で、「今まで知らなかったことも多くあり、勉強不足も感じた」「コミュニケーションの取り方が難しいと感じた」「職員の思いやりや助け合いの姿勢をみて、これからの仕事に活かしていきたい」と感想を話されました。「実際の現場で医療や療育がどのように行われているかがわかった」「食事や活動で一人ひとりの表情が変わってくる」と皆さんの気づきもあつたようです。実習、お疲れさまでした。ありがとうございました。



2015年8月15日(土)  
聖母被昇天・故利用者追悼ごミサ

地域交流ホームで故利用者の追悼と平和に向けて皆でお祈りを捧げました。神父様からは8月15日が「ザビエルが日本にキリスト教を伝えた日」「終戦記念日」であることが紹介され、「人の中にある罪の結果が原爆につながった」と長崎大学の永井隆先生の言葉を用いて罪の怖さについてのお話がありました。また、いじめや自殺の問題を例に、「嘘や悪口といった罪は、初めはそんな気がなくても一人歩きをし、言う人も受ける人もお互いに大きな重荷になる。そうならないように身近な愛を身に付けていくことが大事」と話されました。

2015年6月20日(土) ふれあい運動会

開会式では「皆が頑張ったら私と施設長でラッスンゴレライをしたいと思います」と副施設長のユニークな挨拶があり、和やかな雰囲気の中で競技が始まりました。ディスクを飛ばしてピンを倒す競技ではストライクが出たり、天秤のような手作り器具を使った野菜を飛ばす競技では高得点の枠に野菜を飛ばす選手もいて、会場を驚かせました。また仮装の競技では、会場も選手自身も「変身」をとても楽しんで、会場も多に盛り上がりしました。全体フォークダンスは「花は咲く」の曲に合わせて皆で踊り、オーガニジーはカラフルな花が咲くように会場を彩り、第32回の運動会も盛大に行うことができました。ボランティアの皆さまをはじめ、参加いただいた皆さま、ご協力に感謝致します。



2015年7月2日-3日  
九州沖縄地区重症心身障害施設経営研究会

今回は恵の聖母の家が担当しホルトホールで開催しました。全体会では今後の経営やコミュニケーションスキルについてそれぞれ講師を招き、分科会では事前アンケートに基づいて討論を行いました。また研究会終了後はたくさんの方に当施設を見学していただきました。皆さまのご協力に感謝申し上げます。



2015年7月25日(土) ボランティア公演

今年も別府大学短期大学部初等教育科、人形劇団マーブルの皆さん42名が交流ホームに来てくれました。今回は動物たちを助ける「犬のおまわりさん」と「南の島のハメハメハ大王」の人形劇、そして「マルマルモリモリのダンス」や人形に触れて楽しむ触れ合いの時間があり、会場も笑顔あふれる楽しい時間となりました。公演後は観覧者の退出をマーブルの皆さんが歌で送り、最後まで心温まる時間になりました。マーブルの皆さん、ありがとうございました。



2015年8月11日(火) ふれあい交流会

今年も支援学校や訪問教室の先生方が病棟ホールで演奏や踊りを通して楽しませてくれました。今回は大分の夏といえばということで、府内ぱっちゃん踊りが披露され、情熱大陸のテーマ曲や「花は咲く」の演奏、そして「time to say goodbye」の独唱では透き通る素敵な歌声を聴くことができました。最後に「まあいいのち」を皆で歌い、生徒にとって思い出に残る夏の日になりました。支援学校の皆さま、ありがとうございました。



2015年7月9日(木)  
マルショク白杵店  
参加者4名

ご家族の参加もあり、服やCD等、日頃使うものを一緒に選んで買い物を楽しみました。参加者は「これが良い！」と指をさして答えたり、キャラクターの名前をあげたり、とても気持ち良く過ごしていました。中にはエレベーターで一緒になった別のお客さんに声をかける等、積極的に触れ合う姿を見せたり、大好きな演歌歌手のCDを購入した方は、付いていくとじで賞品が当たり、その日一番の笑顔を見せてくれました。



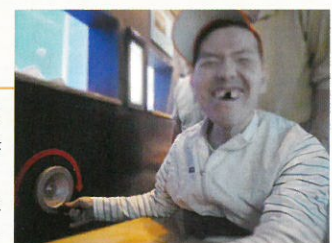
2015年7月16日(木)  
わざだタウン  
参加者6名

出発後、車内で「もう着くなあ」と楽しそうに声を出している人もいて、皆、待ちに待った様子でした。到着後はご家族の顔を見て安心した方、人とすれ違う度に笑い、周囲をよく見て手をたたき等、気持ちのいい様子もみられました。昼食では、好きなものを選んで満足した方、ケーキの香りに閉じていた目を開けて美味しく食べた方と、それぞれ楽しんで過ごしました。エレベーターに乗った時は「上に行きます」と他のお客さんに教えてあげた方もいました。買い物や食事を楽しみ一日になりました。



2015年9月17日(木)  
うみたまご 参加者6名

大分市の水族館で一日を過ごしました。車内でも参加者の笑顔がよく見られ、皆、楽しみにしていた様子でした。到着後ご家族に会って笑顔を見せていました。セイウチのショーではふれあいの時間で楽しみ、イルカのショーでは、水しぶきに驚いた方もいました。逆にお昼の食事を一番嬉しそうにしている方もいました。



2015年9月24日(木)  
しまむら白杵店  
参加者5名

笑顔まではないものの、よく周囲を見ている方、初めは寝ていても服を買う時は起きて、示された服に良い表情で声や指さしをする方、普段と違って周囲をよく見て、レジで買い物をして社会参加ができた方等、それぞれに買い物を楽しみました。



2015年5月14日(木)  
白杵石仏 参加者4名

お天気も良く、気持ち良さそうに目を閉じて過ごす方もいました。参加したご家族の動きかけに目を開けて楽しむ様子も見られました。「帰ったら石仏の絵を描く」と決めている人もいて、一方で、国宝よりもパンフレットの地図に興味深く見ている方もいました。



2015年5月21日(木)  
パークプレイス大分  
参加者7名

大型商業施設で食事や買い物を楽しみました。現地到着時、不安そうにしていた方もご家族の姿が目に入ると落ち着き、うとうとしている方はご家族のタッピングに目をさましていました。買い物では、一番購入したい商品(天然石)について、午前の時間を全て使って店員さんに質問し、慎重に検討していました。昼食は、大好きなお肉を食べてご機嫌な声をあげたり、いつもとは違う辛目の食事を楽しまれた方、キッチンばさみをういて食べやすくした方もいました。それぞれ、ご本人の生活リズムに沿って過ごしたので疲れもみられませんでした。



2015年5月28日(木)  
白杵石仏 参加者3名

初めて車いすで参加する方もいたので、事前に座位訓練を行いました。外気に触れたり、一人でゆっくりした時間を過ごしたり、おやつで買ったソフトクリームの冷たさに驚いた表情を見せた方もいました。



2015年6月25日(木)  
道の駅みえ 参加者5名

朝の着替えの時から笑顔を見せていた方や現地ですとうとうといても、ご家族の声かけに目を開け、一緒に買い物等を楽しんだ方がいました。他に、景色によく目を向けた方や身体や車椅子を動かさずに周囲の雰囲気を楽しむ等、日頃と違う様子の方もいました。帰る時には笑顔がみられ、楽しめた様子がうかがえました。





▼各部署の声です。今年度の目標は「協調」まごころで。」です。

児童発達支援センターめぐみ

児童発達支援管理責任者 丸山 久幸

夏から秋の出来事

七月二十三日から支援学校は夏休み。放課後等デイサービスには朝から児童さんが来てくれました。今年、児童発達支援の方には二歳の児童さん、そして大分市の支援学校に通う児童さんと、昨年よりも二名、お友だちが増えてみんな楽しく過ごしました。

―八月―

夏といえば海ですね。センターでは八月三日に「夏あそび」として魚釣りを行いました。紙でできたいろんなかたちの魚やエビ、タコ等を竿で釣ってもらいました。釣り上げた魚を目の前にかざされると、みんなじっと見てくれました。中には「やった」と、歓声を上げて喜ぶ児童さんもいて、楽しい夏のレクリエーションになりました。

◆ふれあい交流会

八月十一日の午後、臼杵支援学校の先生たちとの交流会が病棟ホールで行われ、センター利用の児童さんたちも参加しました。久しぶりに担任の先生たちに会えて、児童さんたちも喜んでいました。



◆フラダンス

八月二十日、フラダンスをしている恵の聖母の家の看護師がセンターでフラダンスを披露してくれました。会場のみんなども髪飾りや衣装を身に付けて一緒に踊り、楽しい時間を過ごしました。ボランティアの皆さん、ありがとうございました。



―九月―

◆体験実習

九月二十四日、二十五日に県福祉保健部の職員三名の現場体験実習があり、うち一人がセンターで実習しました。初めての实習で、利用者とのコミュニケーションのやり方も不安だった様ですが、職員の対話や関わりを傍で見ながら、食事介助を行いました。活動では「道徳」に参加し、みんなと一緒にお話をきいてもらいました。活動で職員が利用者と視線を合わせて話しかける姿勢は県職員にとって非常に勉強になったようです。センターの利用者にとっても県職員とのふれあいは笑顔あふれる楽しい時間になりました。

施設の行事等の際に、また遊びに来てくれたらと思います。みんなでお待ちしています。

来育 外保

外来保育

主任 林 直見



外来保育ってなあに？障がい児等地域療育等支援事業の中の事業の一つ、在宅支援外来療育等指導事業です。内容は「在宅障がい児（者）及び保護者

に対して外来の方法により、各種の相談・指導を行う」です。恵の聖母の家では平成二十七年九月から外来保育「きつず」をスタートさせました。「きつず」という名前には「子どもたちが主役」という願いが込められています。外来保育を初めて耳にする方にとっては、どんな所かな？何をするのか？と思う人もいます。簡単にいうと、恵の聖母の家で楽しく遊びながら人との関わりや社会性を養うところ、になります。

①「きつず」でご相談を受けます。例えば、もう少し集中できるようにならないかな・友だちと上手く遊べるようにならないかな・友だちと集団活動ができるようにならないかな…等々です。

②日時を決めて恵の聖母の家でお子さまや保護者と一緒に活動を行います。お子さまが興味や関心のあることを通して楽しく過ごせるように配慮します。具体的には、音楽遊び・制作活動・運動遊び（感覚刺激）・文字遊び・言葉遊び等を行います。

③療育を通して保護者と一緒にお子さまへの関わり方を考えます。外来保育士から保護者に気づいたことをお話し、一人ひとりに合った支援方法を提案します。

以上の流れで、基本的に外来保育士と一対一で一回四十分の活動を行っています。回数はお子さまによって違いますが月に一から三回です。行動や遊びを見守りながら声かけを行い、援助や助言をさせていただいています。九月、十月の活動からは、物に関心を見せない子が指遊びで楽しんでくれたり、少しずつおもちゃで遊べるようになったり…。「きつず」の関わりの中で子どもたちの成長がみられています。

これからも親子のつながりを大切に、お子さまにとっては楽しい場、支援の場となるように活動を行っていきまします。利用してみようかなと思われる方、ご連絡をお待ちしております。





訓練課

趣味の発掘

「いちばん好きなことは何ですか?」「趣味は何ですか?」と聞かれた時、皆さんは何が思い浮かびますか?この言葉を投げかけられた私は、何も浮かばず言葉を返すことができませんでした。じっくり考えてみると、好んで習慣的に行っていることがないということに気づきました。



そんな時、食べ歩きや観光、体を動かすことなどいろいろなジャンルの提案を受け、宮崎で有名なチキン南蛮を食べに行ったり、熊本観光、地元にあるジムで汗を流す：などに挑戦してみました。今までの休日の時間の使い方とは違い、時間が経つのが早く、またいろいろな発見があったのでここで紹介したいと思います。

宮崎では行列のできる人気店「なおちゃん」に行きました。タルタルソースではなく甘酢で和えたチキン南蛮は初めてで衣も表面は不規則な網目上で卵白を軽く細かく纏わせた、芸のある仕上がりで特徴的でした。

次に熊本観光です。熊本城に阿蘇神社、雲巖禅寺の観光をし、熊本城の武者返しは天守閣以上に印象的でした。雲巖禅寺では「たくさんの羅漢像の中に自分に似た顔が必ずある」ということで探してみました。父親の顔はあつ

理学療法士 樋口 奈菜美

ても自分に似た像に出会うことはできなかったのが残念でした。

ところで、観光だけでなく熊本といえばラーメンに馬肉ですよ。馬刺しは食べ損ないましたが、こってりラーメンに馬肉の焼き鳥は絶品で、後ろ髪を引かれる思いで観光を終えました。

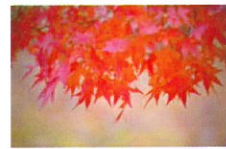
最後は私が一番苦手な運動についてです。臼杵市にある運動施設に小さなジムがあります。一時間百円とお手ごろで時間も決まっているため、飽きっぽい私には丁度良い時間です。バランスボールを使った運動やランニングマシンなどを行ってみました。一時間運動をするなんてとんでもない。日頃の運動不足を実感する機会となり、今では昼休憩に職員を誘って運動を行う私になります。

「やらず嫌い」だった私ですが、いろいろ体験してみなければ楽しいのを楽しめないのかはわからないものだと感じています。まだまだ発掘途中の「趣味」。これからもいろいろなことに挑戦し、これぞ!というものをみつけたいと思います。



生活課  
福祉

半年経って



今年の四月、私は児童指導員として入社しました。児童指導員とは、児童福祉法に記載されている項目を満たした人が名乗れる任用資格で、児童福祉施設に入所している児童に基本的な生活習慣や学習、生活のアドバイスをする仕事です。

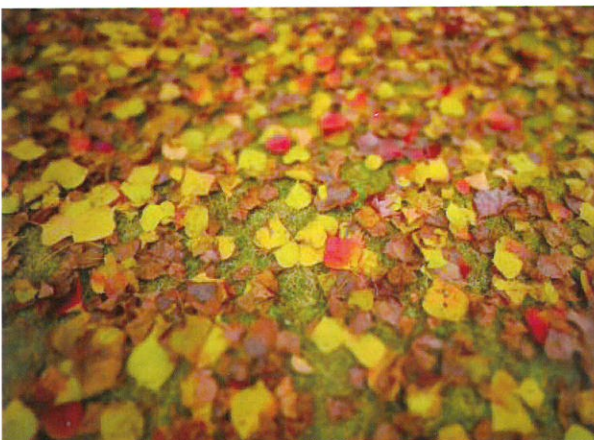
この仕事をしたいと思ったきっかけは、大学時代に社会福祉士、保育士、幼稚園教諭の資格をとった時です。まず社会に出た時、社会福祉士として実力をつけたい・保育の知識技術を実際に自分のものになりたいと思いました。それができるのは、多職種がいて必要度の高い多事業を行っているこの施設だと思いました。また、実際に見学に来た際に利用者さんと自然に関わることができて、心から笑顔になれたからです。「生きる上で大事なことの何がここにはある気がする」と分からないながらも確信したことを覚えていきます。

実際に入社して半年、やはり何度も壁にぶつかりました。利用者さんを理解するにはどうしたらよいかから始まり、その利用者さんの理解をどう正しく多職種と共有するのかと

児童指導員 大賀 加奈

いうこと。また、医療福祉施設での福祉をどう根底から見出していくかに悩みました。今も尚、葛藤の日々です。しかし、毎日の利用者さんとの関わりや多職種に相談して話し合う等を通して少しずつではありますが日々変化できていると感じています。

誰よりも福祉観を強くもっていくことを忘れずに、皆さんと協力して、利用者の生活の質や本人が主体となって生活することを実現していきたいように、できる限り貢献していきたいと思えます。これからもよろしくお願いいたします。







## 保護者の 皆様から



### 今の娘があるのは

木許 かおり

うちの娘は10か月でウエスト症候群という難治性のてんかんを発症しました。ウエスト症候群とは、発作のコントロールが難しく、どの本にも「予後不良」と書かれており、診断された時は3日間、夫婦で泣き続けました。でも主人と「泣いても良くなることはないし、この子にとってベストを尽くそう」と泣くことをやめました。

2年前に専門病院で脳外科手術をし、発作は奇跡的にコントロールされています。娘は脳梗塞が原因で病気を発症しており、右半身マヒがあります。なので、訓練・リハビリはなくてはならないものです。お座り、ハイハイ、立位、歩行、ジャンプ等、発達の上での習得は難しく、訓練によって得なければいけませ

ん。

訓練は本人の苦手な動きをするので、通いはじめは泣いて嫌がり、不機嫌で半分も訓練ができない日も多々ありました。「行く意味はあるのか」と悩んだ時、担当の先生から「そんな時は無理しなくても大丈夫です。お休みすることも必要です」と言われて、気持ち became 楽になったことを今でも憶えています。今ではそんな日々も懐かしく思える程、とても楽しみながら通っており、娘の日常となっています。

2歳前から通い、歩けなかった娘は歩けるようになり、絵を描き、言葉を発し、トランポリンも元気に跳んでいます。今までやってきたことが一つでも欠けたら今の娘はありません。

どんな時も笑顔で迎えて下さるスタッフの皆さんのもて訓練をすることができ、本当に良かったです。とても感謝しています。「訓練」「療育」ときくと身構えてしまう人もいますが、大切な我が子の可能性を引きだし、良い所をたくさん見つけてくれる場所だと私は思っています。

恵の聖母の家は、出会えて良かった、通えて良かった、私と娘にとって大切な場所です。先生方、これからもよろしくお願いします。

## 支援学校 訪問教室



大分県立臼杵支援学校 教諭 馬見塚 みほ

今年度4月より小学部6年生の生徒さんの担当をしています。訪問の授業では、いつも職員の方に協力していただきありがとうございます。授業では、指や腕など身体を動かす「ふれあい体操」、月ごとにテーマを決めた「季節のカレンダー作り」、学校の行事に合わせた生活単元学習などを行っています。9月はコスモス、10月はブドウのカレンダーを作成しました。出来上がった作品は学校の掲示板に貼って、訪問授業の様子を校内の職員や子どもたちに伝えるようにしています。また、9月24日には、「生活単元学習・修学旅行」に取り組みました。園外にでることは難しいのですが、いつもの訪問授業では経験できない、ダイナミックで楽しく思い出に残る活動を職員の方と相談しながら考え、「わくわくランドで遊ぼう」という学習を行いました。

24日当日は、いつものパジャマではなく、ブラウスとカーディガン、そしてかわいらしいスカートに着替

えていました。「お出かけなので着替えましたよ」と教えて下さる職員の方の声にお心遣いを感じました。お母様も参加して下さり、準備していた音楽や乗り物のコーナーで遊ぶことができました。「スヌーズレンコーナー」では、職員の方に準備していただいた手作りのウォーターベッドで心地良い揺れと、ひんやりした感触を楽しむことができました。企画の段階から、相談にのっていただき、職員の方のご協力のもと、生徒さんと一緒に外の風を感じ、楽しい時間を過ごせたこと、本当に有り難く感謝申し上げます。

10月に行われた「イムラスマイルフェスティバル」では、小学部の劇「白雪姫」で魔法の鏡の精に役になりました。真っ白のドレスとかわいらしい髪飾りの衣装、ご準備ありがとうございました。とても素敵な妖精になることができました。

6年生も残りあと少し、小学部の最後の学期を迎えます。卒業に向けて、記念品の製作や卒業式の準備なども計画しています。残りの訪問授業が充実した内容になるよう工夫していきたいと思っておりますので、今後とも、ご協力をよろしくお願いします。



# ★ ぴかぴか ぴかぴか ぴかぴか ★

新しく入られたスタッフをご紹介します。① お名前 ② 職種 ③ お住まい ④ 趣味 ⑤ 一言



①佐藤陽子(さとう ようこ)②託児所保育士③津久見市④家庭料理やお菓子等、お料理を作ることが好きです。料理本をみることも好きで、台所が好きです。④お家の方が安心して子どもたちを預けられるように、ほんわかと楽しい託児所生活を目指したいと思います。



①大田恵美子(おおた えみこ)②看護師③臼杵市④趣味というか、テレビ鑑賞しつつ、のんびりするのが好きです。④勤務して2か月程が経ちますが、反省と学びの日々です。今後、それを一つ一つ着実に活かせるように努力していきたいと思いますので、よろしくお願い致します。



①中原志保(なかはら しほ)②看護助手③佐伯市④趣味は音楽を聴くことやネットサーフィンです。indigo la End(インディゴ・ラ・エンド)やKANA-BOON(カナブーン)等、バンド系を聴いています。ネットサーフィンでは服や雑貨をみて楽しんでます。⑤覚えることが多くて大変ですが、“優しい先輩”方に教えていただきながら日々頑張っています。迷惑をおかけしますが、少しずつなれるようにしますので、よろしくお願いします。



①毛井宏美(けい ひろみ)②医療事務(外来受付)③大分市④週に一回のテニスで汗を流しています。テニス歴は二桁になりますが、腕前は…です(笑)。あとは天気の良い日にいろんなところにドライブする事が好きです。⑤9月から正規採用となりました。4年目ですが、初心を忘れないように頑張っていきたいと思えます。



①後藤信也(ごとう しんや)②看護助手③臼杵市④ゴルフです。始めて5、6年になります。休みの日は臼杵市や三重町にあるゴルフ場のコースを友だちとまわったり、子どもとゆっくり過ごしたりするのが好きです。⑤介護現場は初めてで、右も左もわからず、皆さまにご迷惑をおかけしますが、一生懸命、頑張っていきますので、よろしくお願いします。



①阿部智美(あべ ともみ)②調理師③大分市④特にありません。⑤よろしくお願いします。



## 人事

### ▼新規採用

六月一日

阿部智美 調理師

九月一日付

佐藤陽子 託児所保育士

九月十一日付

毛井宏美 外来医事

十月十九日付

大田恵美子 看護師

十一月一日付

中原志保 看護助手

十一月二十一日付

後藤信也 看護助手

## 学会報告

二〇一五年九月十八日―十九日(東京)

第四十一回日本重症心身障害学会学術集会

恵の聖母の家からは短期入所の取り組み、緩和ケアの取り組みの二題をそれぞれ看護師が発表しました。前日には東京小児療育病院みどり愛育園さまを見学させていただきました。取り組みや入所者に対する姿勢を学ばせていただきました。お忙しい中、見学させていただきありがとうございました。

二〇一五年十月一日―二日(東京)  
第二十六回重症心身障害療育学会学術集会

恵の聖母の家からは三題発表しました。食事の自力摂取の工夫、ソフト食への取り組み、介助方法の検討を看護師、栄養士、介護福祉士がそれぞれの立場、視点で立派に報告しました。

# 行事予定

※青色…施設外療育 ◎…ケースカンファレンス ㊦…個別面談  
 ㊧…権利擁護・虐待防止部会 ㊨…全体朝礼 ㊩…労働安全衛生委員会  
 ㊪…リスクマネジメント部会 ㊫…入浴日

2015年12月			2016年1月			2月			3月		
1	火	㊨㊫	1	金	正月行事	1	月	㊫	1	火	㊨
2	水	㊧ ㊫	2	土	正月行事	2	火	㊨㊫	2	水	㊧ ㊫ ㊫
3	木		3	日		3	水	㊧節分 ㊫	3	木	ひなまつり
4	金	㊩ ㊫	4	月	㊫	4	木	行事委員会	4	金	㊩ ㊫ ㊫
5	土		5	火	㊨	5	金	㊩ ㊫ ㊫	5	土	
6	日		6	水	㊧ ㊫ ㊫	6	土		6	日	
7	月	㊫	7	木	行事委員会	7	日		7	月	㊫
8	火	㊫	8	金	㊩ ㊫ ㊫	8	月	㊫	8	火	㊫
9	水	㊫	9	土		9	火	㊫	9	水	㊫
10	木		10	日		10	水	㊫	10	木	
11	金	㊫	11	月		11	木		11	金	㊫
12	土	クリスマスの集い	12	火	㊫ ㊫	12	金	㊫	12	土	
13	日		13	水		13	土		13	日	
14	月	㊫	14	木		14	日		14	月	㊫
15	火	㊫	15	金	㊫	15	月	㊫	15	火	㊫
16	水	㊫	16	土		16	火	㊫	16	水	㊫
17	木	もちつき ㊪	17	日		17	水	㊫	17	木	㊪
18	金	㊫	18	月	㊫	18	木	㊪	18	金	
19	土		19	火	㊫	19	金	㊫	19	土	㊫
20	日		20	水	㊫	20	土		20	日	
21	月	㊫	21	木	㊪	21	日		21	月	
22	火	㊫㊦	22	金	㊫	22	月	㊫	22	火	㊫㊦
23	水		23	土		23	火	㊫㊦	23	水	㊫
24	木	サンタプレゼント	24	日		24	水	㊫	24	木	
25	金	クリスマスミサ㊫	25	月	㊫	25	木		25	金	㊫
26	土		26	火	㊫㊦	26	金	㊫	26	土	
27	日		27	水	㊫	27	土		27	日	
28	月	㊫	28	木		28	日		28	月	㊫
29	火		29	金	㊫	29	月	㊫	29	火	
30	水		30	土					30	水	㊫
31	木	㊫	31	日					31	木	

※関係者の同意のもと、写真を掲載しております。※予定変更の場合があります。

## 編集後記

年末は意外なことが起こる年といわれていましたが、皆さまにとってはどのような一年だったでしょうか。さて、来年は猿年ですね。これまで日の目をみななかったことが形となって表れてくる年、これまでの頑張りが形になってくる年でもあるそうです。皆さまにとりまして良き一年になりますよう、お祈りしています。(S・M)